

活動名 (教科) かんさつ名人に なるう (国語)

対象学年 2 年

実施期間 5 月下旬

実践者 (所属) 藤生 豊 (久末小)

1. 指導にあたって

(1) この単元の特徴や指導の難しさ

- 自分が育てている植物について詳しく観察し、見つけたことを文章にまとめ、友だちに知らせる活動である。
- 観察して発見したことを、友だちに分かりやすく書いたり、伝えたりすることにこの時期の 2 年生では難しさを感じている子が多い。

(2) それを克服するための ICT 機器やメディアの活用 (利用の意図と工夫)

- 観察したものの画像を見ながら書くことで、伝えたいことをよりの確に表現することができる。
- 発表の聞き手は、画像を見ることで話し手の伝えたいことを理解しやすくなる。

2. 単元の主な目標

- 対象をよく観察し、発見したことを、読み手に分かるように書いたり発表したりする。

3. 指導計画の概要 (時間)

時間	学習内容	児童の活動 (利用メディア)	指導の留意点
1	○学習の内容を知り、見通しをもつ。		・生活科の記録カードを活用し、簡単な学習計画が立てられるようにする。
8	○自分が育てているミニトマトを観察し、友だちに分かるように文章にまとめる。	・詳しく観察し、分かったことをメモする。 ・ミニトマトを撮影する。(デジタルカメラ) ・撮影した画像をプリントアウトする。 ・メモや写真をもとに、言葉を直したり補ったりしながら文章を書く。	・観察の観点を押さえてから、個別の観察活動に入る。 ・撮影した画像が小さくならないことやピントを合わせることを指導する。 ・写真を見ることで、色や形、大きさなど詳しく書けることに気づかせる。
2	○気づいたことを友だちに発表する。	・写真を見せながら発表する。 ・クラス全体に向け発表する時はプロジェクターで投影する。(教材提示機・プロジェクター) ・友達の発表を聞いて感想交流をする	・自分のものや気づきと比べながら感想がもてるようにする。 ・プロジェクターで大きく投影することで、注目しながら発表を聞けるようにする。

4. 取り組み後の子ども達の変容や成果

文章にまとめるとき、手元に画像があったことで、自分の気づきを確認しながら自信をもって書いている様子が見られた。また、伝えたいことをより詳しく書こうとする子もいた。発表を聞くときやまとめを読んだときに、画像があることで相手が伝えたいことを具体的に考えることができた。